

学校法人 菊武学園  
菊華高等学校

# 平成三十年度 入学生選抜試験問題

## 国語

### 〈試験の注意〉

- 試験開始の合図があるまで開けないでください。
- 監督の先生の指示に従って、受験番号と氏名を記入、マークしてください。
- 試験時間は、四十分です。
- 解答は、すべて解答用紙にマークしてください。
- 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないようにしてください。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。
- 破れた場合は交換しますので、申し出てください。
- 丁寧にマークをしてください。乱雑な場合、0点になります。
- 解答用紙の余白に書き込みをしてはいけません。

### 〈マークシート記入の注意〉

番号を記入	受験番号				ふりがな	
					氏名	
番号をマーク	○	○	○	○	氏名とふりがなを記入	
	①	①	①	①		

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

前にも引き合いに出したが、外国に、

「見つめるナベは煮えない」

という⑦ことわざがある。早く煮えないか、早く煮えないか、とたえずナベのフタをとっていては、いつまでたっても煮えない。あまり注意しすぎ  
ては、**A**、結果がよろしくない。しばらくは放っておく時間が必要  
だということをお教えたものである。

⑧考えるときも同じことが言えそうだ。あまり考えつめては、問題の方  
がひっこんでしまう。出るべき芽も出られない。一晩寝てからだ、ナベ  
の中はほどよく煮えているというのであろう。枕上の妙、ここにありと  
いうわけである。

ことと次第によっては、一晩では、短かすぎる場合がある。大きな問題  
なら、**B**、長い間、寝させておかないと、解決に至らない。考え出  
して、すぐ答の出るようなものは、⑨たいした問題ではないのである。本  
当の大問題は、長い間、心の中であたためておかないと、形をなさない。

W・W・ロストウはアメリカの経済学者で、ケネディ大統領の経済顧問  
として世界的に知られた人で、その『経済伸長論』は(1)画期的な学説とし  
て高く評価された。その序論を読むとこの問題にはじめて関心をいだいた  
のは、ハーバードの学生としてであったと、書いてある。それから何十年  
もの歳月が流れている。忙しかったから、まとめるのが遅れたなどという  
ことではない。いつも、心にはあった。あたためていたのである。それが  
ようやく、卵からかえたのである。こういうように、大問題はヒナにか  
えるまでに、長い歳月のかかることがある。

ロストウにしても、この理論にだけかかわっていたのではなからう。ほ  
かのことを考えることもあったに違いない。それは、怠けていたのではな

い。時間を与えていたのである。「見つめるナベ」にしていたら、案外、  
途中で興味を失ってしまったかもしれない。

このごろはすくなくなつたが、昔は、ひとつの小さな特殊問題を(2)専心  
研究するという篤学たつとくがくの人がよくいたものである。(3)わき目もふらず、ひ  
とつのことに打ち込む。研究者にとって(4)王道を歩んでいるようだが、そ  
の割には効果のあがらないことがしばしばである。

**C**、ナベを見つめすぎるからであらう。ナベにも煮えるのに自由  
な時間を与えなくてはいけない。あため、寝させる必要がある。思考の  
整理法としては、寝させるほど(5)大切なことはない。思考を生み出すのに  
も、寝させるのが(3)必須である。

作家にとっても(6)よい素材は幼年時代の経験であると言われる。  
幼いころのことをもとにして書かれた、幼年物語、少年物語、そういう名  
はついていなくても、そういう性格の作品が、すぐれていない作家は凡庸  
であるとしてよい。

なぜ、作家の幼年、少年物語にすぐれたものが多いのか。素材が充分、  
寝させてあるからであらう。結晶になっているからである。余計なもの  
の流れに洗われて(4)風化してしまっている。長い間、心の中であたため  
られていたものには不思議な力がある。(7)寝させていたテーマは、目をさま  
すと、たいへんな活動をする。なにごとともむやみと急いではいけない。人  
間には意志の力だけではどうにもならないことがある。それは時間が自然  
のうちに、意識を超えたところで、おちつくところへおちつかせてくれる  
のである。

努力をすれば、どんなことでも(5)成就するように考えるのは思い上がり  
である。努力しても、できないことがある。それには、時間をかけるしか  
手がない。幸運は寝て待つのが賢明である。ときとして、一夜漬つづけのよう  
にさっとでき上がることもあれば、何十年という沈潜しんぜんのちに、はじめて、

形を㉠ととのえるといふこともある。いずれにしても、こういう無意識の時間を使って、考えを生み出すということに、われわれはもっと関心をいなくすべきである。(外山滋比古「思考の整理学」より)

※1 枕上の妙 寝る時にふと浮かぶよい考え

※2 篤 学 学問に熱心に励むこと

※3 沈 潜 深く沈みかかれること

以下の問いに答えマークしなさい。

問1 傍線(1)～(5)の語句の意味として適当なものを選択肢から選びなさい。

(1) 画期的

- ① 計画を立てて物事を進めること
- ② 説明に図や写真を使うこと
- ③ ある現象が決まった時間に起きる
- ④ 今までにない物や考え方
- ⑤ すばらしい思いつきや作品

(2) 専心

- ① 高度な技術を必要とする
- ② そのことだけに集中して行う
- ③ 正直な気持ちで行う
- ④ こまかいことに心を配る
- ⑤ 疑いの気持ちをもって観察する

(3) 必須

- ① みんなが持っているもの
- ② 大切にすること
- ③ なくてはならないこと
- ④ 全力をつくすこと
- ⑤ たくさんあるものの中の二つ

(4) 風化

- ① 時とともにうすれていく
- ② 風の力を利用したエネルギー
- ③ 乾燥させる
- ④ 逆らわずにまかせる
- ⑤ 形だけが残ること

(5) 成就

- ① 願いを言葉にする
- ② じっと待つ
- ③ 自分の力で努力する
- ④ 神仏の力を借りる
- ⑤ 思い通りにやりとげる

問2

A ㉠ C ㉡に適当な語句をそれぞれ選択肢から選びなさい。

(6) A ① はるかに ② ところで ③ もちろん ④ かえって

⑤ おそらく

(7) B ① むしろ ② 少しも ③ たとえ ④ その上 ⑤ だが

(8) C ① また ② さらに ③ しかし ④ そこで ⑤ やはり

問3 傍線㉢・㉣・㉤・㉥・㉦の語句について、適当な品詞名を選択肢から選びなさい。

(9) ㉢ ことわざ

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 連体詞

(10) ㉣ たいした

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 連体詞

(11) ㉤ 大切な

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 連体詞

(12) ㉥ よい

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 連体詞

(13) ㉦ ととのえる

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 連体詞

(14) 傍線①「考えるときも同じことが言えそうだ」とあるが、どういうことが言えるのか、適当なものを選択肢から選びなさい。

① 大切な問題を考え続けていてもよい案が出てくるとは限らない。思い切ってあきらめることも時には大切だ。

② 大切な問題を考え続けていてもよい案が出てくるとは限らない。問題から離れて少し時間をあけて再び考えるのがよい。

③ 大切な問題を考え続けていてもよい案が出てくるとは限らない。時には料理を試してみるなど、気分転換をすることが大切だ。

④ 大切な問題はじっくり考えているとかえって解決しない。問題の内容をもう一度確かめてから再び考えるのがよい。

⑤ 大切な問題はじっくり考えているとかえって解決しない。周りの人の意見を聞いて考える余裕も必要だ。

(15) 傍線⑤「わき目もふらず」の意味として適当なものを選択肢から選びなさい。

① 興味がなくなって関心を示さないこと。

② 時間的な余裕がなくあせていること。

③ じっくりと考えるから結論を出すこと。

④ 集中をしてほかのことに関心を向けないこと。

⑤ はずかしくてまともに顔が見られないこと。

(16) 傍線④「王道を歩んでいる」とあるが、ここでいう「王道」の意味として適当なものを選択肢から選びなさい。

① 一番正当だと思われるやり方

② 一番立派だと思われるやり方

③ 一番危険だと思われるやり方

④ 一番慎重だと思われるやり方

⑤ 一番大切だと思われるやり方

(17) 傍線②「寝させていたテーマは、目をさますと、たいへんな活動をする」とあるが、どういうことか、適当なものを選択肢から選びなさい。

① 幼年時代に十分な睡眠をとることで、大人になってから活動的になれるということ。

② 幼年時代の経験は活動的なことが多く、長い年月のちにおもしろい物語としてまとめられること。

③ 幼年時代の経験は小説の素材となり、長い間寝かされ、すばらしい物語としてまとめられること。

④ 幼年時代の経験は夢を見ているようなことが多く、それを実現させるために大変な努力をすること。

⑤ 幼年時代に十分睡眠をとることが、後の人生に影響を与えるという大きなテーマがあること。

(18) この文章の内容として適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 問題を考えるときに必要なことは、長い時間をかけることと、ひとつのことに打ち込む集中力である。
- ② すぐれた答えはすぐに出るものではない。問題を長い間寝かせることで解答が見つかることがある。
- ③ ひたすら考えることは時間の無駄になるだけでなく、健康にもよくないのでやめるべきである。
- ④ 簡単な問題は一晩放っておくだけで、翌日にはすべて解決しているものである。
- ⑤ 幼年時代の思い出を長い間心の中であためておけば、誰でもすぐれた物語を書くことができる。

二、次の文章は、古内一絵「フラダン」の一部である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

工業高校に通う辻本穰は水泳部員だったが、主将の松下と意見が合わず退部、強引に勧誘されたフラダンス部（フラ愛好会）に入る。部員たちは「フラガールズ甲子園」を目指し、日々練習を続けるが、さまざまなトラブルがあり、お互いの不信が募る。穰は練習の帰り、同じクラスでメンバーでもある林マヤと歩きながら話をする場面。

震災の直後は、マヤのように学校で突然泣き出す生徒も多く、誰もがそっとしておいてくれたそうだ。

「でもね、そのうち、だんだん時間が経つと、そういうことをすごく怒る人たちが出てきたの。特に私の場合は犬だったから、そんなの家族や友人を亡くした人に比べれば、どうってことないだろうって、大声で怒鳴られたりしたの」

いつまでもメソメソするな。

お前ひとりのおかげでクラスが暗くなる。

みんなが前に向かっていこうとしているときに、足を引っ張るな――。

マヤは随分といろいろなことを言われたらしかった。

「そういう言葉って全部 A から、ひとりの人が言い出すと、急にみんなが言うようになって、気がつくとも、ものすごく大きな声になるの。そうすると、それまで黙って見ててくれた人たちまで、わーって、そっちにいっちゃうのね」

堤防沿いまでくると、海風が吹いてきた。

マヤの髪がなびき、夏服のスカートの裾が揺れる。

「私ね、高校まで松下君と同じクラスになっちゃって、本当にものすごく嫌だった」

松下は、中学のクラスの中でも特に㉞そうしたことを声高に言うグループに属していたという。

「だって、松下くんちは浸水もなかったんだよ。でも、そんなこと言ったら、なに言われるか分からなかった。被害があったほうが偉いのかって、凄まじいことあったし」

マヤがクラスであんなにも萎縮していた理由が、初めて分かった気がした。

「ただね」

マヤが分厚いレンズの奥から、穰を見上げる。

「小学校のときの松下君で、ちっとも今みたいじゃなかった。なんかいつもびくびくしてて、全然目立たなかったんだよ」

「へえ……」

びくびくした、松下。

穰には、なんだか想像ができなかった。

「でもね、だから私には、松下君って、いつも㉟大声で言えることを、必死になって探してるみたいに思えちゃう」

穰は驚いてマヤを見る。

「多分、そうしてないと、不安なんだよ。松下君は」

マヤは意外に厳しい眼差しで、人気のない灰色の海を見ていた。

「自分の言葉で喋れない松下君がクラスの中心にいるなんて、私には信じられない」

海風になびく髪をおさえながら、マヤがぐるりと振り返る。

「だから、㉞松下君は、ずっと辻本君のことが怖かったんだと思うよ」  
穰はぼかんと口をあけた。

あいつが、俺を怖かった——？

そんなこと、今の今まで、考えたこともなかった。

「だって、㉞本当のリーダーになれるのは、一番弱い人のことまでちゃんと考えられる人だもの」

マヤは、今までにないほど熱い眼差しで穰を見た。

「覚えてる？ 実習のとき、私が模型を運べなくて四苦八苦していたら、辻本君が手助けしてくれたこと……」

もちろん、忘れるわけがない。

見かねて手を出した穰の顔を見るなり、マヤはその白い顔を、ばあーっと耳まで赤く染めた。

まさしく恋におちる瞬間を、目撃したような一瞬だった。

(19) A にあてはまる語を選択肢から選びなさい。

- ① 怖い      ② うるさい      ③ 正しい  
④ つらい      ⑤ おかしい

(20) 傍線㉞「そうしたこと」の内容としてあてはまらないものを、選択肢から選びなさい。

- ① 復興を願う人々の足を引っ張らないでほしい  
② 悲しみを引きずるのはよくない  
③ 家族や友人を失った人に比べれば大した問題ではない  
④ クラスに悲しむ人がいることで友達にも迷惑をかける  
⑤ 大声を出すことで気が楽になる

(21) 傍線①「大声で言えることを、必死になって探してる」とあるが、これは松下のどのような性格を表しているか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① おもしろいことを言って周りを楽しませる性格。
- ② 強い口調で相手を言い負かす乱暴な性格。
- ③ 思ったことをはっきり言うわがままな性格。
- ④ 他人に反論されない「正しい意見」を言う臆病な性格。
- ⑤ 周りを納得させる意見を一生懸命考える真面目な性格。

(22) 傍線㉠「松下君は、ずっと辻本君のことが怖かったんだと思う」とあるが穰の何を恐れていたのか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 要領のよさ
- ② 優しさ
- ③ 冷静さ
- ④ 力強さ
- ⑤ 頭のよさ

(23) 傍線㉡「本当のリーダーになれるのは、一番弱い人のことまでちゃんと考えられる人だ」とあるが、これは穰のどのような行動を見て言ったものか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 模型を運べなくて困っているマヤを助けたこと
- ② みんなが恐れている松下を怖がらないこと
- ③ 厳しい視線にも恐れないうこと
- ④ 自分の意見をはっきりと言うことができること
- ⑤ 相手の話を最後まで黙って聞くこと

三、次の文章と現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

宮にはじめてまゐりたる頃、ものの恥づかしきことの数知らず、涙も落ちぬべければ、㉠夜々まゐりて、三尺の御几帳のうしろにさぶらふに、絵など取り出でて、見せさせたまふを、手にても得さし出づまじう、わりなし。

「これは、とあり。かかり。それか。かれか」

など、のたまはず。高坏にまゐらせたる御殿油なれば、髪の毛なども、なかなか昼よりも顕証に見えて、まばゆけれど、念じて、①見などす。いとつめたき頃なれば、さし出でさせたまへる御手のはつかに見ゆるが、㉡いみじうにほひたる淡紅梅なるは、「かぎりなくめでたし」と、見知らぬ㉢里人心地には、「かかるとこそは、世におはしましけれ」と、おどろかるるまでぞ、目守りまゐらす。

(「枕草子」より)

※1 御几帳 室内を仕切る布

※2 高坏 料理を盛る脚付きの台

※3 御殿油 手元をともし明かり

〈現代語訳〉

私が中宮彰子様に初めてお仕えしたところ、何かと恥づかしいことがたくさんあって、涙も落ちてしまひそうなので、毎日、夜に参上して、中宮様のおそばの三尺の御几帳の後ろにひかえていると、中宮様は絵などをお取り出しになって、私にお見せになるのを、それに手でさえも出せそうにもなく、困惑している。「この絵はこうこう、かくかく。それかあれか」などとおっしゃる。高坏にお灯し申し上げる御灯火なので、私の髪の毛なども、かえって昼よりもはっきり見えて恥づかしいけれど、我慢して見る

などする。ひどく冷えるころなので、袖からお出しになっていらっしやる御手がちらっと見えるのが、(傍線㉗部) 薄紅梅色であるのは、「この上もなくすばらしくていらっしやる」と、高貴な世界を見知らない民間の人の気持ちでは、「こうした方が、世の中にいらっしやったのだ」と、はっとするほど、お見つめ申し上げる。

24 傍線㉗「夜々まゐりて」とあるが、なぜ夜に参上したのか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 夜のほうが頭がさえるから
- ② 中宮に会うことを秘密にしたいから
- ③ 他人の目が気になるから
- ④ 昼間は調子が悪いから
- ⑤ 夜の雰囲気が好きだから

25 傍線㉘「見などす」は何を見たのか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 絵
- ② 中宮の顔
- ③ 灯火
- ④ 自分の手
- ⑤ 暗闇

26 傍線㉙「いみじうにほひたる」はどのような様子か、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 大変香りのよい
- ② 大変香りの強い
- ③ 大変まぶしい
- ④ 大変つややかな
- ⑤ 大変肥えた

27 傍線㉚「里人」とは誰のことか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 中宮
- ② 大臣
- ③ 子どもたち
- ④ 山里に住む人
- ⑤ 作者

28 この作品の作者名を、選択肢から選びなさい。

- ① 紫式部
- ② 清少納言
- ③ 和泉式部
- ④ 紀貫之
- ⑤ 在原業平

四、次の傍線の漢字の読みを選択肢から選び、マークしなさい。

29 誇大広告に注意しないといけない。

- ① もうだい
- ② はだい
- ③ そうだい
- ④ じだい
- ⑤ こだい

30 相手に勝る実力を持ちながら負けた。

- ① まさ
- ② かつ
- ③ すぐれ
- ④ こえ
- ⑤ のぼ

31 会場には紙吹雪が舞っていた。

- ① すいせつ
- ② けっせつ
- ③ ふぶき
- ④ こゆき
- ⑤ ふゆき

32 海岸の干拓工事が進められる。

- ① しまったく
- ② ひたく
- ③ ほたく
- ④ かんたく
- ⑤ さんたく

33 式典に厳かな気持ちで臨んだ。

- ① しず
- ② おごそ
- ③ しめや
- ④ げん
- ⑤ はなや



五、次の四字熟語の□にあてはまる漢字を選択肢から選び、マークしなさい。

(34) 人工□星 ① 衛 ② 映 ③ 栄 ④ 永 ⑤ 英

(35) 大同小□ ① 遺 ② 異 ③ 違 ④ 以 ⑤ 意

(36) 因□応報 ① 容 ② 我 ③ 陽 ④ 果 ⑤ 来

(37) 一進一□ ① 後 ② 歩 ③ 退 ④ 貫 ⑤ 止

六、次の人物の書いた作品を選択肢から選び、マークしなさい。

(38) 松尾芭蕉

① 日本永代蔵 ② 雨月物語 ③ おらが春

④ 古事記伝 ⑤ 奥の細道

(39) 芥川龍之介

① 暗夜行路 ② 蟹工船 ③ 杜子春 ④ 風立ちぬ ⑤ 山月記

(40) 川端康成

① 細雪 ② 伊豆の踊子 ③ 金閣寺 ④ 黒い雨 ⑤ 津軽





